

# NVC Monthly

## 寝屋川映像同好会会報

第1号(090612)

発行 竹田幸男



### 同好会ニュース

#### 春の撮影会開催



去る5月15日(金)、寝屋川市映像協会との共催で春の撮影会を行いました。行き先は「東映京都撮影所」。8:49 寝屋川市駅乗車、途中の駅から合流し、10:30現地着。参加9人、内1名は映像協会からの参加でした。

構内に数多くの建物、町並みや撮影

用セットがあり、「映画のヒミツ うそ・ほんとう」「忍者ショー」「大江戸大道芸『南京玉すだれ』」「映画村の学習館 寺子屋」、等のアトラクションの間には構内各所で各人思い思いにカメラを回し、最後は新撰組の衣装を着ての仮装集合写真で盛り上がり15時過ぎに会場を後にしました。

#### 竹下会員入院

撮影会直前から体調不良を訴えられ5月18日から東寝屋川の大阪病院に入院され、診断は急性肝炎とのことで、6月12日現在まだ入院中でした。早く回復されることをお祈りします。(6月中旬退院されたとのことです。)

# 例会の窓

平成 21 年 6 月例会

日時：平成 21 年 6 月 12 日（金）13：30 - 16：45

場所：寝屋川市市民活動センター（市民会館 4 F）子供室

出席：天野 新井 石田 小笠原 梶本 竹嶋 竹田 谷 田淵 9 名

欠席：竹下 （50 音順・敬称略）

## 例会次第

### 1. 春の撮影会（5 / 15）の総括

- ・ 天気も良く多数参加できてよかった。
- ・ 今日には 3 名の方が撮影会の作品を持参した。
- ・ 最後に盛り上がった記念写真は谷さんのご好意で焼き増し分が配付された。

### 2. 会員の当面する問題点報告や質疑応答（主なもの）

- ・ 田淵氏：デジカメのデータをいったんパソコンにコピーした後に SD カードに戻しても再生しない。テレビでも見えない。  
（意見：カメラで撮影すると SD カード内では写真データを入れた「DCIM」と目次と思われる「MISC」の 2 つのフォルダーが出来、この両方がないと再生できないと思われる。「MISC」フォルダーが削除されると再生できないのではないかと。またそっくり複製してみて再生ができるかどうかを実験されてはどうか。）
- ・ 梶本氏：カメラから HDD への取り込みができなかったが、USB 2.0 のアダプタを購入したら取り込みができるようになったので、これから編集を始める。取り込んだ映像が細かく切れる。  
（意見：編集ソフトの初期設定で切れないように設定できるはず。）

谷氏：縦の文字をゆっくりと上から下に表示したい。（意見：超編でできます！）

- ・ 竹田：パソコンが「マイクロソフトの陰謀により爆破された。」（詳細略）

### 3. 作品映写

（1）東映太秦映画村 15 分 天野

出だしに「オッ空撮か？」と驚く場面もあり、まとめにくい内容をテレビ映像を加えて1本につなごうと努力された作品。少し長くなったのが残念。

(2) 観桜ウオーク 4分41秒 谷

谷さん初めてのナレーション入り作品、以前の疏水周辺ウオークの作品にナレーションを加えるだけで見違えるように魅力が高まりました。さらに工夫を加えることでこれからの作品が楽しみです。

(3) 映画村三部作 15分 小笠原

作者初めての動画作品、写真の経験から構図も良く、カットポイントのタイミングも良くできています。三部目の静止画部分は一部の動画と重複して少しだれてきます。別作品と考えたいです。

(4) 忠烈祠 衛兵の交替 4分50秒 竹田

台湾でハイビジョン撮影した実験的作品で、ここでは映写できないので、DVDとDVに落としたものを公開しました。ビデオスタジオのソフトの性能か、それぞれ縦横比が希望通りにならなかつたり、映像の質がDVで撮影したものに大きく劣るなど、問題が色々あります。カメラがHD中心になる中、HDカメラしか持たない会員が来た時にどう対処するか。また、これからの作品作りの座標中心をどこに置くか、課題を抱えています。

このほか、新井さんも撮影会作品を持参されたが、動く部分を中心に映像に大幅にデジタルノイズがかかり、編集過程に問題があると考えられ、映写を中止しました。次回までに解明されることを期待します。

#### 4. メール版会報発行の提案

目的：活動の記録を残すため。

労力を省き長続きさせるため原則として印刷はしません。メール添付だけで配付し、必要あれば個人でプリントアウトすることにします(してあげます)。

編集者は交替として、記事データ(ニュース・例会結果・次回予定・技術・随想他)は皆で分担します。

手間は掛けず、記事は流し込みとします(半端なところで止まっても良い)。

第1回はサンプルとして竹田が担当し、次回からのやり方は7月例会で相談します。

#### 5. その他

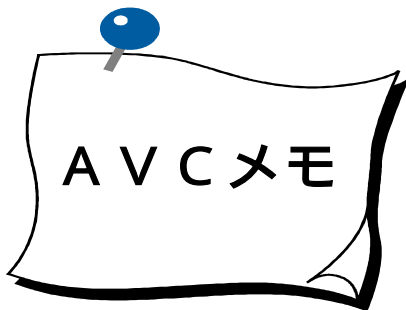
(1) インフルエンザ次回流行前に泊まり込みなど何か活動をしませんか。

旧大原町で7/4に酒倉コンサート? があるとの情報があったが当日都合の悪い人や、時期も間近で準備も難しいことから、話は進行せ

- ず、先送りとなっています。早めの提案を期待します
- (2) 交野映写会対策 本年の七夕を撮しておくか。  
7月7日は、個人レベルで撮影しておけば、何かの役に立つと思います。
- (3) 会員同士の見舞いについて  
見舞いの時にはお見舞い金品をどうするかに頭を悩まし、また、受けた方も事後処理に頭を悩ますので、会員同士は原則見舞い物無しとし、それより無聊を癒すため見舞いに行く機会を多くするように考えたいと提案して皆さんの理解を得ました。将来的には「香典」もなしにしたいと考えます。

## 6. 来月の例会開催日とカメラ担当

7 / 10 (金) と決定、次回のカメラ当番は石田さん



### 手振れ補正機能付き編集ソフト現わる

竹田 幸男

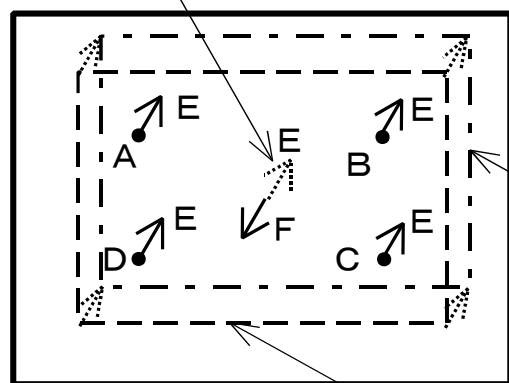
ビデオの手持ち撮影の時に画面が揺れるのが悩みの種でした。もちろん今のビデオカメラには「手振れ防止装置」は付いていますが、その能力を超えた大きなカメラの揺れは補正できません。

画面の揺れは、特に風景映像では鑑賞を妨げる大きな障害要因になります。ところが最近、この問題を解決する編集ソフトが現れました。トムソン・カープス社のエディウス・プロ5 というソフトに組み込まれ、最近その下位ソフトのエディウスネオ2にも搭載されたモーションスタビライズフィルタ「MerCALLi」というソフトがそれです。

原理等は発表されていませんが、ビデオカメラの手ぶれ補正から類推してみます。ビデオカメラの初期の「電子式」手ぶれ防止装置では、映像を取り込むCCDの存在する全範囲を図の外側の実線で示します。CCDの存在する範囲のうち、周辺部を除いた点線の内部だけから映像を取り込むようにします。

そして、たとえば右図のように画面の中に複数の点(図では4点)A、B、C、Dを決め、この4点の映像がどのように動く

映像取り込み範囲スライド方向



スライドした映像取り込み範囲

CCDの全範囲 映像取り込み範囲

のかを観察しています。4点の映像が一斉に同じ方向Eに向かって動くと、それはカメラが反対のF方向に動いたものと判断し、映像を取り込む範囲を一点鎖線で囲まれた範囲となるようにE方向にスライドさせます。うまくいけばこれでF方向へのカメラの揺れが無かったように撮影されます。

4点のうち一部(たとえば1点か2点)の映像だけが動いたことがわかったとき、カメラは、カメラが揺れたのではなく撮影している相手が動いたものと判断して取り込み範囲のスライドは行いません。

これはビデオカメラでの例ですが、編集時のソフトによる補正もこのような方法で行われているものと考えられます。

ついでですが、この電子式は、今は安いランクのビデオカメラに使われ、高級品には光学式が使われます。カメラの揺れを加速度センサーで感知し、補正はレンズ系の一部を動かして行います。光学式はズーム中にも補正が行われ、電子式はズーム中には効果がないと言われていています。理由は上の説明から考えてみてください。

このように編集ソフトでの手振れ補正は、撮影が済んだ後で効く素晴らしい機能ですが、手放しで喜んではいられません。というのは、補正のために撮影した画面の周辺が切り取られて撮影範囲が狭くなるのです。そうして残った画面を拡大して使うため、映像が荒くなります。つまり解像度が低くなるのです。揺れっばなしの撮影をして、このソフトの世話ばかりになると、解像度の低下した作品になってしまいます。できるだけこのソフトのお世話にならないようにカメラの構えをしっかりする、三脚を使う等の努力をして、どうしてもこの場面は生かしてやりたい、と言うところだけに使うように考えたいものです。

(以上)

【次号からはさらに皆さんの随想や経験談、研究発表などを加えていきたいと考えます。】